

# 施策評価管理シート

施策体系	政 策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営	2017(平成29)年6月作成	
	基本施策	2	自主自立の市政経営	担当部局名	部局長名
	施 策	2	成熟社会に対応する行政運営	総務部	我山 博章

## 1. 施策の基本方針 Plan

- 魅力ある行政サービスを将来にわたり安定的に提供できる行財政構造への転換を図るため、行政資源や行財政運営のプロセスといった行政内部の改革を進めます。
- 公共施設の一元管理と中長期的な維持管理・更新等を見据えた施設の管理運営、さらには既存ストックの合理的な利活用も含めたマネジメントを推進します。
- 常に市民の立場に立って親切、丁寧で分かりやすく、迅速なサービスの提供に努めます。

## 2. 現状と課題 Plan

- 厳しい財政環境と大幅な職員数の削減といった状況の中、社会経済情勢の変化や成熟社会に対応できる自立した自治体を目指し、さらなる行政改革に取り組んでいく必要があります。
- 人口増加をはじめとする社会環境の変化や市民ニーズの多様化等に合わせて整備、拡充を進めてきた公共施設については、経年による老朽化や設備機能の低下、さらには防災・耐震性能等の向上など、改修等が必要な時期を迎えています。
- 少子高齢化、市民一人ひとりの価値観の変化などから、市民ニーズは年々専門化・複雑化してきています。

## ○ 施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
効率的な市政運営に向けた取組が行われていると感じる市民の割合（％）	目標	-	-	-	45.0	0.0%
	成果	42.9	33.8			
庁外研修の参加人数（人）	目標	-	-	-	200	0.0%
	成果	156	152			
行政サービスの質や仕事ぶりについて満足していると感じる市民の割合（％）	目標	-	-	-	60.6	13.8%
	成果	57.7	58.1			

## 3. 課題解決への取組内容（平成28年度） Plan Do

計 画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効果的な市政運営を図るため、新たな総合計画を見据えた簡素で有効な行財政マネジメントシステムの再構築を検討します。</li> <li>・行政評価をはじめとして、人事評価制度などの仕組みや制度を連動させて、必要性・経済性・効率性・有効性などの観点から、市民の期待に応えることのできる施策や事業を予算化できるよう取り組みます。</li> <li>・名張市定員管理方針で定める職員数と事務量のバランスに配慮しつつ、効果・効率的な組織体制や人事配置を進めます。</li> <li>・目標管理制度や人事評価制度の活用、職員研修の充実により、職員の持つ能力が最適に発揮されるよう取組を強化するとともに、厳しい財政状況や社会環境の変化に対応できる人材の育成強化を図ります。</li> <li>・公共施設の中長期的な維持管理・更新等を見据えた施設の管理運営を分野横断的に行うマネジメント体制の整備と「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組みます。</li> <li>・市民が1階フロア全体を1つの窓口として利用できるよう「総合窓口」におけるサービス手法の見直しを行います。</li> <li>・社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）による行政事務の効率化や市民の利便性向上に取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政評価委員会における取組を中心に、施策評価の検証及び事務事業の総点検に取り組み、市民の期待に応える施策や事業を予算につなげるとともに、以下の取組を進めた結果、施策指標である「効率的な市政運営に向けた取組が行われていると感じる市民の割合」はH26と比較して△9.1ポイントでしたが、「行政サービスの質や仕事ぶりについて満足していると感じる市民の割合」は0.4ポイント増加し、目標値に近づけることができました。</li> <li>・「名張市定員管理方針」で定める職員数と事務量のバランスに配慮しつつ、係長の配置など、効果・効率的な組織体制や人事配置に努めました。</li> <li>・平成28年度より本格導入となった人事評価制度のスムーズな運用に向けて、研修を充実しました。人事評価や目標管理による取組を通して、組織内のコミュニケーションの活発化、人材育成、職員のチャレンジ意識の向上を図りました。</li> <li>・本市の人口構成や市民ニーズの変化に即した公共施設等の適切な規模と在り方など、長期的な視点で公共施設等の機能維持に取り組みつつ、次世代に負担を残さない効率的・効果的な公共施設等の最適配置等を目的に「名張市公共施設等総合管理計画」を策定しました。また、プロジェクトチームを中心に、庁内横断的な公共施設マネジメントの取組に着手しました。</li> <li>・市民が1階フロア全体を1つの窓口として利用できるよう「総合窓口」のサービスを見直すとともに、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）による行政事務の効率化や市民の利便性向上を目指した取組を進めました。</li> </ul>

## 4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

- ・行政評価をはじめ人事評価制度や効果的・効率的な組織体制・人事配置など様々な仕組みや制度を有効に連動させて、市民の期待に応えることができるよう行財政マネジメントシステムのさらなる充実に取り組みつつ、市民視点で「総合窓口」におけるサービスを見直すなど、市民サービスの向上を目指す必要があります。
- ・「名張市公共施設等総合管理計画」に基づく、公共施設等マネジメントの実施により、次世代に負担を残さない効率的・効果的な公共施設等の在り方を検討する必要があります。

## 5. 課題解決への取組内容（平成29年度） Action

- ・厳しい財政状況や都市振興税導入などの現状を踏まえ、行財政マネジメントシステムのさらなる充実により、行政改革に取り組めます。また、新たな行政課題に対応するため、働き方改革などの取組を推進するほか、事務改善に関する項目について「業務向上委員会」を活用し、集中的な改革に努めます。
- ・「名張市公共施設等総合管理計画」に基づき、各部門で策定する個別施設計画の策定を支援するため、プロジェクトチームが中心となって方針調査を実施するなど、個別施設計画の策定に必要な共通認識の形成と庁内横断的な調整に取り組めます。
- ・引き続き、市民視点で「総合窓口」におけるサービスの見直しを進めます。

## 6. 行政評価委員会による総合評価



公共施設の計画的な管理運営を進めるとともに、市庁舎敷地内の「市民広場」、「憩いの森」の有効活用について早期の検討を行うこと。